

「ご挨拶」



牧師 新井由貴
(在日大韓基督教会・京都南部教会)

「イエス・キリスト の愛の中で」

「あなたがたに新しい撃を与える。互いに愛し合ひなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」(ヨハネによる福音書 13章 34-35 節)

シャローム！寒い冬が過ぎ、ようやく春がやってきました。

キリスト教をどんな宗教ですか？と聞かれた時、クリスチヤンは何と答えるでしょうか？私は真っ先に「愛の宗教です！」と答えます。そして私が目指している牧会も「愛の家」です。イエス・キリストの生涯を通して示されたのは、まさに「神の愛」でした。「愛」の反対語は「無関心」と言われますが、私たちの住む社会はこの「無関心」から様々な問題や困難が生じるのではないかでしょうか。何か特別な行いをしようとするのではなく、隣人になまづ「関心」を持つとき、それは自然と愛の行動に変えられていくのだと思うのです。

イエス・キリストは目で見ることはできません。しかし、私たちが互いに愛し合う時に、そこにはっきりと愛をみることができます、愛を感じることができます、愛を知ることができます。

これからも、「愛の家」がイエス・キリストの愛の中でたくさんの愛のみ業がなされますように、祝福を祈ります。そして、この混沌とした殺伐とした時代の中にあって、イエス・キリストの愛を一人で多くの人たちに伝えすることができますように、私たちがどんな小さなことであっても隣人に関心を持つことからはじめたいと願います。



「ご挨拶」



牧師 金 武士
(在日大韓基督教会・大阪西成教会)

「第四の“縁”」

大阪東南キリスト教会牧師であった古川富也先生は、「浪速教会の初めからかかわってきた私にとって、現在の建物がここにあるということは奇跡としか思えません。」と言っておられました。30年近くも、ただお腹をすかした人が炊き出しを受けたということだけでなく、礼拝と交わりを通して愛の家につながり、新しい生き方を始めたということが並大抵のことではないと言われた意味ではないかと思います。助けられ救われた人々が、その与えられたタラントを活かしてなしている教会堂の修理や炊き出しの奉仕。またそこに訪ねて来る人々を迎える皆さんの笑顔。そこに神様の愛を誰もが認めることができるからであります。さらに在日や日本また韓国からの牧師や信徒のボランティア活動、それが30年近くも引き継がれてきたということも並大抵のことではないと思います。25年間も月一回の説教を300回近く、それも重たい義務感からではなく、ウキウキし、ベテランの説教者自身、あふれる愛が流れていくのを実感してきたと証ししています。これらは主の働きであり、その働きを土台で支えてこられた金鐘賢牧師任や師母任の労苦と忍耐に敬意を表します。思えば20数年前、この働きに必要な支援を関西地方会の定期総会で要請した時に、議場から非常に厳しい辛辣な声を聞いた時に、苦しみにじれるような金牧師任の顔を、私は今も忘れることができません。しかしそれにひと言も反論せずに飲み込まれた。それはただ食べる物や着る物だけではなく、魂の救い命の問題だからであります。以前NHKで「どうする無縁社会」という番組をしておりました。血縁、地縁、社縁、これらは薄くなり頼ることが出来ない無縁の時代を迎えていたとの内容でした。





「ご挨拶」金武士牧師の続き

その中で“第四の縁”は何だろうかとぼんやりと、教会を思い浮かべたのは私だけだったでしょうか。それを現していこうとしている愛の家を神様が祝福してくださるように祈ります。さらに「愛の家」はアルコール依存症やギャンブル依存症、薬物依存症、精神障害者、認知症の人々に対し、教会を毎日オープンして相談を受け話し合い支えています。精神的な病を持っている人、あるいは様々な人生の痛手を負っている人達に対応するのは私達牧師の働きの一つであり実際なされています。しかしそれを全面的に教会のみんなで、かつて同じような苦しみの中にいた者が救われ、そのスタッフとして行っているのは主にある貴い業だと思います。“第四の縁”、神の家であります。大阪北教会牧師の森田幸男先生が指摘しておられるように、以前朝日新聞に掲載された浪速教会の炊き出しの記事に金牧師任の、炊き出しを生涯続けたいとの見出しがありました。本当に貴いことあります。しかし金牧師任も浪速教会のスタッフも



金武士牧師

(2007年撮影)



故古川富也牧師

(2007年撮影)

寄る年波から逃れることはできないでしょう。その中でこの貴い働きが続けられ、これから奇跡が起こることを願ってやみません。申命記の15章11節。単に生活の貧しさだけでなく生きることの貧しさ、全ての縁を失っている人々の家がこれからも支えられていきますように。

申命記15章11節「この国から貧しい者がいなくなることはないであろう。それゆえ、わたしはあなたに命じる。この国に住む同胞のうち、生活に苦しむ貧しい者に手を大きく開きなさい。」



集会・炊き出しの奉仕者たちをご紹介します！



金鐘賢牧師、姜貞淑 師母



運転チーム



厨房チーム



整理券、配膳、清掃チーム

事務・音響チーム



宣教チーム

韓国の「主の教会」と「大邱ヒョンブン教会」の宣教チームが教会に宿泊しながら奉仕をしてくださいました。木曜集会には布施教会に訪問中の済州島新山教会チーム、金鐘洛牧師夫妻を訪問中の仁川大光教会チームも参加してくださいました。主の教会の担任牧師アン・ヨンドク牧師は「浪速教会に10年ぶりに来ることができた！教会を移動してから、またコロナが始まっていますが、気持ちはあってもなかなか来ることができませんでした！」とおっしゃってくださいました。ずっと祈り続けて下さり、滞在中は伝道のために子ども、青年、大人までみんなで一つとなって祈り、活動し続ける姿にとても励ましと挑戦を受けました。また韓国舞踊を賛美に合わせて踊ってくださったり、集会で提供する食事のおかずには韓国の「チャプチエ」と「フルコギ」「キムチ」を作ってくださいました。その日の浪速定食の写真はP.5の『お願い』のページに掲載しています。



木曜・伝道集会

2月20日の集会は今までで一番ゲストが多くて演目が多い礼拝となりました。韓国からの宣教チームが2組、その日の説教奉仕担当は奥田昭牧師(ハルヤ・サンライズチャペル)、そしてベンチャーライター・参遊亭遊助(豆生田信一)さんです。宣教チームは特別賛美とワーシップダンス、奥田牧師は演歌ゴスペル、最後に参遊亭遊助さんがアレンジをいれた落語をしてくださいました。宣教チームのみなさんにとっては「落語」という異文化体験をする機会にもなりました。

前回の「愛の家」ニュースレター vol. 47 (クリスマス号) でも3月の報告を含めていました。今号も3月末までの報告としています。毎年「復活節・イースター」の日が違うからです。重なる部分がありますがご了承ください。そしてそのイースター前の「四旬節・レント」の期間中に必ず毎年一度木曜伝道集会に訪問して賛美をお捧げしてくださるのがシオン合唱団の方々です。今年結成60年を迎えたシオン合唱団の練習に練習を重ねられた美しい歌声は浪速教会の礼拝堂から天に上っていく祈りと賛美の香のようでした。



金曜・おにぎりとおみそ汁配り

炊き出しのおにぎりとおみそ汁を食べた後は、食器を返してからお土産を受け取ってもらいます。そうしないと食器をどこかへ捨ててしまう人やお土産を何回ももらおうとする人がいるからです。色々な事がありますが、奉仕者皆で知恵を出し合って、その都度解決しています！ 暖かい季節が始まりましたので、そろそろ衣類・日用品配りの準備をして春と夏の間くらいでお配り出来たらなと考えています。支援物資の中で割り箸やお米があります。本当に助かります。いつもご支援ください、心よりお礼申し上げます。

③



特集 「愛の家」の恩人⑯

故 当重 茜 姉

(ソプラノ歌手、単立 藤井寺教会 信徒)

2015年12月10日木曜日、当重茜姉は浪速教会の2人の兄弟達の強いリクエストに負けて「一度だけ行ってみよう」という気持ちで浪速教会「愛の家」の木曜伝道集会に参加し、賛美のご奉仕をされました。その時の茜姉の心情は『「愛の家」ニュースレターvol.31の「奉仕者の声」』にあります。大阪朝祷会で茜姉をスカウトしたのは、浪速教会の嶺洋一兄と白石亮兄でした。慣れない朝祷会で戸惑っていた白石兄に茜姉がいつも声をかけてくれて、そのお陰で長期に渡り朝祷会に参加できました。また白石兄がうつ病で悩んで茜姉に携帯メッセージを送ると叱咤激励してくださり、信仰に結ぶ言葉を返信していました。白石兄が精神的・身体的に立ち上がりがれなくなり、部屋の床に座るしかない時、茜姉は亮兄の背中に自分の背中を合わせて、横山大輔さんの賛美「永遠に主を礼拝する 全ての賛美を受ける方 感謝をささげ尽くしても 足りないほど恵み深いお方 流された血潮によって 我らの罪赦され 注がれた愛によって この命生かされ 主にある希望によって 全てをゆだねて歩むこの道を 主イエスは道 真理 命 全て治める方 この愛は決して私を離さない この希望は失望に終わらない 完全な愛は恐れを締め出し 全てを守られるお方」を賛美してくださいました。

「ただ一度だけ・・・」がその後は都合がつくたびに、また悪性リンパ腫が発病され、術後は体調が許される限り毎月第1木曜日に特別賛美のご奉仕をお独りで、時には仲間と一緒に捧げ下さいました。茜姉がとても楽しみにしていたのは、ご自身の賛美や替え歌賛美の歌詞のPPTに合わせて、大木執事がイラストや写真を添えて作ってくれたものを見ながら賛美する事、また集会に参加する兄弟姉妹たちとの交わりがお好きでした。召天される1週間前には『「愛の家」に行きたいけれどまだ今月は無理そうです。浪速教会の人間に会えるなら家に来てもらってもいいです』とおっしゃってください、伺う約束をしていましたが、その約束の前日の2月3日(月)に急に召されました。時が良くて悪くても、弱いご自身をありのまま受け入れて、自身には強く、弱い人、孤独な人に寄り添って下さるイエス様のような茜姉の信仰を忘れず見習っていきたいです。

当重茜姉、本当に疲れさまでした。沢山の賛美と証、ご奉仕をありがとうございました。



「愛の家」会計決算報告書(2024.1.1-12.16)

収入	24 予算	2024.1-12
定期後援会	1,100,000	995,060
一般後援会	2,000,000	1,415,150
クリスマス献金	1,200,000	292,400
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	420,000
御米献金	100,000	110,000
小計	5,020,000	3,432,610
繰越金	2,218,680	2,218,680
合計	7,238,680	5,651,290

支出	24 予算	2024.1-12
事務・備品・印刷費	250,000	178,747
発送費	100,000	67,913
交通費	50,000	17,756
車両維持費	200,000	148,391
奉仕者支援金	500,000	615,529
研修費	200,000	0
御米代	500,000	329,551
副食費	1,800,000	1,369,304
建築積立金	1,800,000	2,300,000
救済費	500,000	186,033
修理施設費・予備費	1,338,680	15,085
小計	7,238,680	5,228,309
繰越金		422,981
合計	7,238,680	5,651,290

「愛の家」会計中間報告書(24.12.17-25.3.31)

収入	25 予算	2024.1-3
定期後援会	1,000,000	269,000
一般後援会	1,600,000	585,197
クリスマス献金	500,000	971,892
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	0
地方会支援金	420,000	105,000
御米献金	150,000	32,000
小計	3,870,000	1,963,089
繰越金	422,981	422,981
合計	4,292,981	2,386,070

支出	25 予算	2025.1-3
事務・備品・印刷費	220,000	83,864
発送費	100,000	6,560
交通費	50,000	2,400
車両維持費	200,000	28,563
奉仕者支援金	700,000	261,061
研修費	200,000	0
御米代	400,000	258,781
副食費	1,400,000	488,917
建築積立金	700,000	0
救済費	300,000	8,610
修理施設費・予備費	122,981	7,408
小計	4,292,981	1,146,164
繰越金		1,295,906
合計	4,292,981	2,442,070

* 24年の会計決算算出は宗教法人申請手続き上、12月半ばでの決算、監査となりました。つきましては、2025年会計は12月半ばからの開始となりました。ご了承ください。



路上生活者支援のための 献金のお願い



花の盛りもあわただしく去り、いよいよ春も深まってまいりました。この美しい自然界を私たちのために創造された父なる神様と、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。また、クリスマス献金には、たくさんの方々が祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまがお献げくださったクリスマス献金は、路上生活者、失業者、生活保護受給者で身寄りのない独居の方々の支援のために用いさせていただいています。

昨年秋頃よりお米が高騰し、一時期はスーパー や各店舗のお米売り場から米袋が姿を消してしまったこともあります。今現在でも「一家族につき一袋まで」という表示がある店舗もあります。光熱費など諸費用も徐々に価格が上がっている中の急なお米の値上がりには支援者の皆様もご苦労なさっている事と思います。共に天のお父様に祈り、支え合っていく必要が更にさらに強まってきているのを感じます。そのような状況下ですが、お祈りや物品のご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に2回行っています。金曜炊き出しには毎回約110人～200人、木曜集会にも常時50～80人近くの路上生活者や失業者の方々が温かい食事を求めて並ばれます。炊き出しの実際の経費として、毎週85,000円を支出しております。

(お米50kg・40,000円、副食費45,000円、合計85,000円)

「愛の家」事業：木曜・金曜炊き出し（木曜集会&日曜礼拝と食事提供、夜間パトロールは現在休止中）、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、生活用品収集分配

2025年度 献金目標額：100万円

◆ 定期、一般後援者募集

一般後援：1,000円以上、定期後援：毎月1,000円以上

衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞄、タオル、カイロ、食材、お米を送って下さい（古着のスーツ類の需要は少ないです）

献金振込先（ゆうちょ銀行）

郵便振替：00930-0-299392 口座名：在日大韓基督教会浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

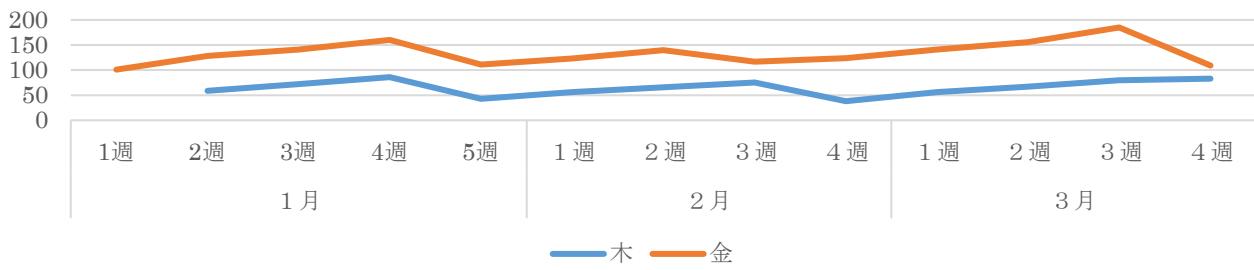
E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2025年4月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」
牧師 金鐘賢



2025年1~3月参加者人数



献金者お名前(敬称略・順不同) (2024年11月1日~2025年3月31日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・在日大韓基督教会関西地方会、豊中第一復興教会、大阪北部教会女性会、河内常男、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、朴栄子、匿名

一般後援金

韓国の支援者の皆様、救靈会館、韓国群山老会社会福祉委員会、金浦チュニメ教会宣教チーム、大邱ヒョンブン教会宣教チーム、川崎教会、京都シオン教会、京都教会女性会、ハンビッ教会(オーストラリア)、シオン合唱団、梁漢順、姫田光之、ホンヘシン勧士、布施教会、宮澤玲子、森明子、重松絢子、匿名

クリスマス献金

西部地方教会女性連合会、豊中第一復興教会、大阪教会女性会、大垣教会、福岡城南教会、西宮中央教会、大阪東南キリスト教会、旭川教会、武庫川教会、草加教会、横須賀教会、宇都宮松原教会、池田教会、布引教会、南浦和教会、荻窪北教会、船尾土曜学校、名東教会、滝川教会、大垣教会、京都教会、福岡中央教会、小倉教会、横浜海岸教会、つくば東京教会、広島教会女性会、広島教会、大阪姫松教会、吉田教会教会と社会委員会、大阪西成教会、折尾教会、博多教会、都島教会、川西教会、関西地方教会女性会、西新井教会、神戸東部教会、神戸教会、名古屋教会、日土教会、重松貿易株式会社

木村敏子、梁漢順、金栄吉・李香蘭、山本覚、金森俊徳、岩坂二規、久保安子、フジタケイコ、清水眞一、徳山愛子、韓亨春、李恩順、奥田安奈、佐藤栄一、金龍玉、神野幸子、

お米、お米献金

宮澤玲子、京都教会女性会、西村雅人、

食材

フードバンク大阪、フードバンク関西、ぐるり農園、国際飢餓対策機構、北津守郵便局、

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町有志

衣類、靴、鞄、生活用品、ふとん類、マスク、家具

河内常男、松井明美、ぐるり農園、北津守郵便局、匿名



「愛の家」の人々

私達の浪速教会「愛の家」の横には郵便局がありました。北津守郵便局です。その郵便局が今年3月14日付で、近くの郵便局と合併し移転しました。高齢化で利用客が少ないという理由からだそうです。昭和20年代に建築され、北津守郵便局としての歴史もながかったと聞いています。「郵便局」が閉店・移転するというのはとてもショックが多く、木曜集会に集まる人々にもお知らせをすると、普段は顔を下げている人でさえも顔を上げて驚きの表情や声を上げていました。浪速教会に来たついでに郵便局へ行こうという方が結構いらっしゃった様子がうかがえます。しかし、便利性だけでここまで残念な気持ちを引きずるはずがない、と自身の心に問いかけてみると、やはりそこには人ととの交わりの温もりがありました。当教会も毎日色々な人が入れ代わり立ち代わりで利用し、とてもお世話になりました。時には、精神的病を抱えている兄弟姉妹の事で助けて下さったり、心配して見守ってくださったりもしました。郵便局の方々も移動の際にはご挨拶をしてくださる程にお互いに信頼し合い、親しくなっていたからだと思います。郵便局がなくなるのは理解できても、そこに居る「人たち」という存在がこれからは当たり前に存在するわけではないという空虚感に見舞われている今日この頃です。高齢化の現在において、天国での再会を絶対保証しているイエスの福音をのべ伝え温もりの上に主の恵みを注いでいく働きの必要性を強く感じています。



発行責任者 金鐘賢
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392